

## 姫路・西播支部 指導問題学習会 ご案内 指導・監査の現状と対策

～日常の留意点にもふれて～ (医科対象)

指導・監査に関する業務が2008年に社会保険事務局から厚生局に移管して以降、医療機関に対する指導件数が増えています。同時に新規開業医に対する個別指導においても、カルテの記載不備等が指摘された場合は、診療報酬の返還を求められるようになってきました。

現在兵庫県では、個別指導の選定は情報提供等によるものを中心となっていますが、指導大綱で規定している集団的個別指導と運動した高次救急医療機関も今後対象とされる可能性があります。

今回の学習会では、協会審査対策部が近畿厚生局兵庫事務所に対して開示請求を行って入手した指導関連文書をもとに、最近の指導の状況、指導での指摘事項を中心に、カルテ整備など日常診療での留意点について解説いたします。

指導問題にご関心のある先生はぜひご参加ください。

※(株)エムシーシステムの案内状は、午後3時～5時になっていますが、午後2時～4時です。

会場 ホテルサンシャイン青山 2階サンシャインホール  
姫路市青山南4-7-29 TEL (079)276-1181

講師 協会審査対策部長 先生

参加費 無料 共催 株式会社エムシーシステム

### <学習会の主な内容>

- ・個別指導、集団的個別指導の現状
- ・個別指導における指摘事項
- ・日常のカルテ記載の留意点 ～指導内容の記載がなければ返還!

※ 問い合わせは、協会審査対策部 電話 078-393-1803

### 指導問題学習会参加申込書

地区 ( )  
 医療機関名 ( )  
 お名前 ( )  
 電話番号 ( ) FAX 番号 ( )



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実 幹子  
 連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸アコク生命海岸通ビル5F  
 兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

## ラジオ関西「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう」医療知ろう!



姫路市から松浦先生(右)と「夢前町の自然を愛する会」代表の山本氏(中)が出演した

協会は秋の大型宣伝として、10月よりラジオ関西の番組「寺谷一紀と!い・しょく・じゅう」の協会提供コーナー「医療知ろう!」を開始しており、会員自らが医療のさまざまな問題について解説している。

姫路・西播支部では、夢前町産廃処分場建設計画について松浦伸郎先生と「夢前町の自然を愛する会」代表の山本弘氏が出演し、産廃処分場建設は土壌や地下水を汚染し姫路市の住民の健康に悪影響を及ぼす可能性があるなどの問題点を訴えた。(10月11日放送)

## 第248回支部幹事会より

11月15日(木) 午後2時30分～ 於 姫路しばさんびる503

◆情勢と運動対策では、厚労省の打ち出した「生活支援戦略」生活保護の在り方について、野田首相の年内衆院解散・野田内閣の世論調査結果などについて意見交換したほか、姫路市の子ども医療費の問題や、夢前町聖苑処分場建設計画について議論した。また、今後の支部企画についても意見を出し合った。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせは、Tel.078-393-1817 田村まで。

評議員会(左)で環境公害対策部の  
山中忍評議員(下)が話した



11月18日に行われた協会第82回評議員会では、環境公害対策部の山中忍評議員が、姫路市では「夢前町に国内で最大規模の安定型産業廃棄物最終処分場の建設計画がすすまれている」と、その問題点を指摘し、協会でも医療者の立場から地元の姫路・西播支部、協会環境・公害対策部が中心となって、視察の実施や署名活動を行ってきたことを報告。「引き続き、地元住民の運動に協力していきたい」と発言した。

地元住民らでつくる「夢前町の自然を守る会」が集めた署名は7万筆を超えました。協会は、いのちと健康を守る医療者の立場から、建設許可を認めないよう求める意見書を作成し、7月10日に姫路市へ提出しました。姫路・西播支部では、「建設許可を認めないよう求める院長署名」に取り組み7月10日に214筆の署名を提出しました。

※各医療機関で住民署名にご協力いただける先生は事務局までご一報ください。署名をお送りさせて

### 投稿募集!

姫路・西播支部ニュースへの投稿を募集しています。趣味や日常お考えのことなどテーマは問いません。ぜひお寄せ下さい。

FAX: 078-393-1802 E-mail: tamura@doc-net.or.jp 担当事務局 田村まで

### 短時間で署名 197筆も



買い物途中の親子などが足をとめ次々と署名に応じた。姫路・西播から池内理事長と白岩理事が参加した。

協会などで行った「県立こども病院のポートアイランド移転を撤回させ、高麗期医療の拡充を求める会」(こども病院連絡会)は10月27日、神戸元町・大丸前で、街頭宣伝・署名活動を実施。呼びかけに応じて署名する通行人が相次ぎ、わずか40分間で197筆もの署名が集まった。

協会から、池内春樹理事長、武村義人・川西敏雄両副理事長、大森公一・辻一城・白岩一心各理事が参加。白岩姿で

「中央市民病院が大災害時に役に立たなかった。教訓とすべき大切なことの一つではないだろうか」「皆さんの声を寄せてほしい」と訴え、署名への協力を呼びかけた。

「子どもが通っている。絶対にやめてほしい」と涙ながらに話す母親や「そんな計画は全く知らなかった」と驚く家族連れなど、通行人が次々署名に応じた。